盛岡山車大絵巻

2024 MORIOKA DASHI

岩手県指定無形民俗文化財

盛岡山車

盛岡八幡宮は南部盛岡藩ゆかりの鎮守様。約三百年の伝統を誇ります。

13日から16日までの四日間繰り広げられる盛大な鎮守のおまつり。宝永6年（1709）、城下23町のまちづくりが完成したのを祝って始められました。

お盆明けから作り始められた山車が一斉にお披露目となり市内一円に繰り出します。

歌舞伎や歴史上の名場面が飾りつけられ、一台に200人も勢子（せこ）が付いてにぎやかに練り歩きます。

この豪華絢爛さをさらに盛り上げるのが太鼓の音色と独特の南部木遣節。

町内の子供たちは、ひと月も前から太鼓の練習を開始し、女児たちは手古舞装束で大はしゃぎです。

ドンコドンコ、ドンコドンコドンコ…
「やぁれやぁれ！
やぁれ！やぁれー！」と
太鼓をたたく子供たちのかけ声が盛岡っ子の遠い記憶を呼び覚まします。

14日昼は山車の八幡下り、15日夜は山車の大絵巻パレード、16日には八幡宮境内で古式ゆかしく流鏑馬（やぶさめ）が行われ、盛岡に秋の到来を告げます。

山車運行委員会　（公財）盛岡観光コンベンション協会

もりおか歴史文化館

明治時代の山車を再現展示！
（1階は入場無料）

〒020-0023 盛岡市内丸 1-50　☎019-681-2100
【開館時間】9:00～19:00（11～3月は 18:00 まで）

生そば・わんこそば
直利庵

〒020-0871 盛岡市中の橋通1丁目12－13
phone 019－624－0441㈹

盛岡観光コンベンション協会
「推せんの店」

盛岡山車大絵巻パレードパンフレット　不許複製©二〇二四（公財）盛岡観光コンベンション協会山車運行委員会［協力］盛岡山車推進会［印刷］（有）大典堂印刷

三戸町　魚たけ

hoshikawa_gyoten

有限会社　星川魚店

三代目魚たけ
盛岡のお魚屋さん日記＆火消し日記

代表取締役　星川　将司

盛岡市本町通三丁目17番38号 TEL(622)4310FAX(622)4527

FOR THE YEAR ONLY 8 FLOATS PARADE---NOT TO BE MISSED

Morioka Hachimangu shrine, established some 340 years ago, had been a tutelary shrine of theNambu province in the *Edo period.* The *Dashi* floats of *Morioka-Hachimangu* Festival—or *Morioka Aki-matsuri autumn festival*—the biggest festival for a tutelary deity— held annually from Sept.14 to16, started in 1709 to celebrate the completion of 23 towns around the former Morioka-jo Castle. Beautifully decorated floats, called *Nambu-furyu-dashi,* march around the city for three days. Each team spends almost half a year to complete its for-the-year-only float by featuring famous scenes of *Kabuki* plays or legendary scenes of the history. Almost 100 members of each float-team pull thier float, or perform traditional folk tunes called "*Nambu-kiyari-ondo* chants" which is the highlight of the festival. Children become Kodaiko drummers over two-weeks' training prior to the festival. Some ladies and girls march charmingly in the front row in their *Tekomai* style which is the traditional festive attire of the Shinto.

Main attractions: parades & ceremony

"*Hachiman-kudari* Parade" 1:00 PM,Sept.14,Sat. *Hachiman-dori* St.
"*Dashi Oemaki* evening Parade" 6PM,Sept.15,Sun. *Odori* St.
"*Yabusame*" (discharging arrows ceremony on horseback)
1PM,Sept.16,Mon. Morioka Hachimangu Shrine

(MTCA©2024)

Coca-Cola
Michinoku
Coca-Cola Bottling

盛岡競馬場 屋台村
元祖ジャンボ焼き鳥　鳥喜

盛岡山車大絵巻パレード・出発式 9月15日(日) ごご5時10分

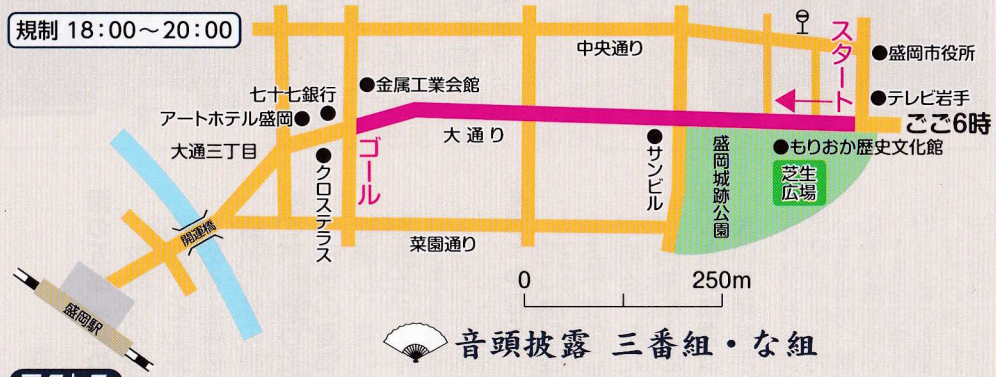
パレード出発ごご6時

もりおか歴史文化館発・大通り

「大絵巻パレード」は夜のパレード。灯りをまとい夜の大通りを行列する様子は一層きらびやかです。
〈みどころ〉もりおか歴史文化館前での出発式では出演２組による「南部木遣り(音頭)」が聞かれます。
出発前には山車を間近にご覧いただけます。

※音曲・鳴り物はスタート地点から開始します。

規制 18:00～20:00



音頭披露 三番組・な組

アクセス

【バ ス】盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」で「盛岡駅」⑯番のりばから(10分)
「県庁市役所前」下車徒歩4分、130円
【タクシー】約10分、約1,100円(小型)
【徒 歩】盛岡駅からもりおか歴史文化館まで25分

パレード順

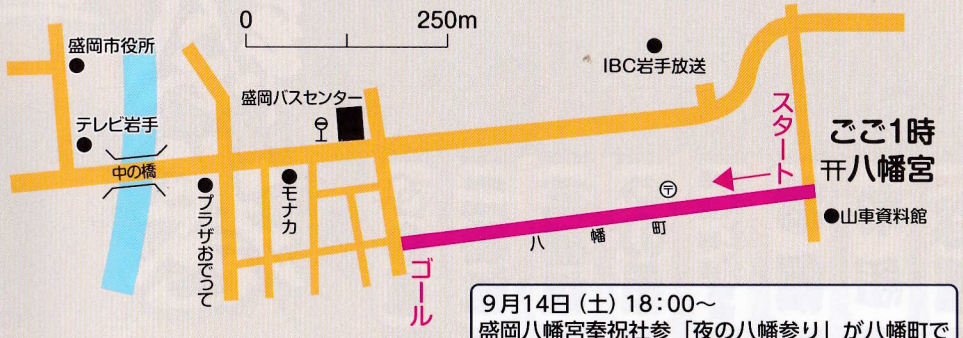
1. な 組　2. わ 組　3. さ 組　4. の 組　5. い 組
6. 二番組　7. 三番組　8. 盛岡観光コンベンション協会

ことし出演の山車が勢揃い

八幡下りパレード 9月14日(土) ごご1時出発

盛岡八幡宮表参道

昼11時過ぎから盛岡八幡宮前に出演全山車が曳き揃え。午後１時「お通り」が開始されると神輿をはじめとした行列はさながら歴史絵巻のようです。
パレードのとりを務める奉納各組山車が太鼓をとどろかせ市内巡行へと出発します。



9月14日(土) 18:00～
盛岡八幡宮奉祝社参「夜の八幡参り」が八幡町で実施されます。是非ご観覧下さい。

アクセス

【バ ス】盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」で「盛岡駅」⑯番のりばから(13分)
「盛岡バスセンター」下車徒歩10分、130円
【タクシー】約13分、約1,500円(小型)
【徒 歩】盛岡駅から盛岡八幡宮まで40分

パレード順

1. い 組　2. 二番組　3. 三番組　4. の 組　5. 盛岡観光コンベンション協会
6. さ 組　7. わ 組　8. な 組

今年も開催！おもてなし 山車ふれあいショー
❶ 9/13(金) 17：30～ もりおか歴史文化館前
❷ 9/14(土) 16：00～ もりおか歴史文化館前
❸ 9/15(日) 12：00～ JR盛岡駅東口バスターミナル
小太鼓打ち体験、写真撮影、音頭上げ実演
参加無料・各回とも40分程度
※❷、❸は山車運行状況により開始時間がずれる場合があります。
問合せ：(公財)盛岡観光コンベンション協会 TEL.019-621-8800

一般住宅建設の事なら何でもお気軽にお電話下さい。
睦建設（むつみ）
盛岡市津志田中央1丁目1番31号
TEL 019-637-1050

い組

頭取　三浦光一

プロフィール

八幡町い組は、「盛岡市消防団第四分団」として、八幡町を拠点に活動しております。盛岡八幡宮のお膝元である門前町として『町火消し「い組」の心意気と伝統』を今に引き継いでおります。

市民の皆様に喜ばれる山車の奉納をモットーとして、盛岡の秋を彩ります。

雨の五郎（あめのごろう）

歌舞伎の長唄「雨の五郎」で「廓通いの五郎」とも言われます。曽我五郎時致が仇である工藤祐経を油断させるため、金糸・銀糸の蝶の模様の着付けで、化粧坂の少将の許へ通うという物語。

白地の着物に色とりどりの鮮やかな刺繍を施し、青の番傘をかざす、華やかな場面を飾る。

見返し　かむろ

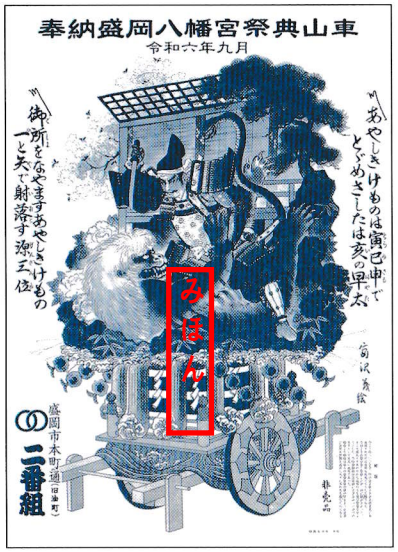
禿（かむろ）とは、花町で遊女の世話をする下女のことで赤い着物を着た少女たちである。ただ赤いだけでなく、若梅の刺繍が両袖に入る。

五郎に遊女からの手紙を届けにいく姿で黒い文箱を手にしている場面です。

盛岡市八幡町一―一一七
TEL 六五一―五〇七八

二番組

頭取　大沼敏裕



プロフィール

天明三年（一七八三）六月、南部藩三十五代利正公の命によって十三日町の伝之丞、馬町の惣八が火消組を組織し、「いろは組」（現在の第三分団）と名付けた。いわゆる御用鳶である。

その創設とともに油町（現在本町通）に伝之丞、惣八の弟分であった甚七という名の加賀鳶が二十五人の若者を組織して「㐂組」を創設したのが始まりとされています。

その後、寛政の頃に南部藩の御用火消しに召し抱えとなり、明治十三年県の御用鳶として「二番組」が認可され、明治二十七年消防第六部となり、昭和十四年盛岡市警防団六分団、昭和二十三年現在の盛岡市消防団第六分団と改められました。

分団の纏は「ケシの実（けし→消す）」と輪違印（兄弟の深い絆を表す。また二つの輪には仲良く手を組む意もある）を紋様化したものといわれ、現在の纏は創設当時から引き継がれています。

その当時、纏には金銀箔を用いたり、金銀をみだりに使用を許されず御雇火消しのみに使用が許されたとされています。

鵺退治（ぬえたいじ）

今より八五〇年余昔、時の帝、近衛天皇が妖怪変化に毎夜悩まされ宮中は奇怪な出来事として噂された。

全国より高僧が参じ祈禱したが一向に験がなかった。

そこで源氏と平家の中から武勇の士を選び警護させようとした。当時源頼政は兵庫頭にすぎなかったが弓の名手として名高い武将であった。

勅命により頼政は家人の豪勇無双の猪早太をつれ奇怪な怪物を見事に一矢で射落とし、すかさず猪早太が取り押さえとどめを刺し天下に其の名を轟かせた。

見返し　俄獅子（にわかじし）

毎年九月、吉原の恒例になっていた仁和賀の気分を長唄化し、鼓唄、木遣り、投節くずし、笛入りの唄、獅子の狂い合方、囃子の鳴り物、廓の情緒や俄の雰囲気を芸者姿で扇獅子を手に踊っている姿です。

盛岡市本町通一丁目一一―二四
TEL 六二二一―三五〇〇

我が町の誇り、
い組 頑張れ！
大根とりんごの
看板でおなじみ
やおや八ささき
盛岡市八幡町6-9 ☎019-622-8482

屋根・外壁塗装
NEXT CREATE
SINCE 2020 MORIOKA
ネクストクリエイト　代表 吉田　祐希
TEL.090－7790－8427

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します！
手造り菓子 梅月堂
盛岡市本町通1-9-40　TEL·FAX 019-622-5042

三番組

組頭　小國　渉

プロフィール

三番組は南部利敬公時代の寛政十一年（一七九九）から二百年以上の歴史がある町方火消し組です。発足当初は、「り組（龍吐水組・龍組）」と称していましたが、明治期に名称を「三番組」とし、その後、「盛岡市消防組第七部」となり、戦後、現在の「盛岡市消防団第八分団」と改められました。山車運行の際には、明治頃の名称である「三番組」を使用しております。

第八分団管轄十三か町内と共に実行委員会を組織し、地域一丸となって平成二十九年以来七年ぶりの山車運行です。

川中島（かわなかじま）

川中島の戦いは、戦国時代の最中、北信濃（現・長野県北部）に領土拡大を目指す甲斐国（現・山梨県）の武田信玄と、信玄によって信濃を追われた豪族から助けを求められていた越後国（現・新潟県）の上杉謙信との間で、千曲川と犀川が合流する「川中島」において、十余年五度にわたり争われた合戦の総称である。

永禄四年（一五六一）秋、武田家軍師・山本勘助の提案した「啄木鳥の戦法」により、妻女山の上杉軍を挟撃するべく武田別働隊が海津城を発ったが、謙信はこの動きを察知し、一切の物音を立てることを禁じて、夜陰に乗じて密かに妻女山を下り、武田本隊正面に布陣した。翌朝、朝霧にまぎれ奇襲をかけた謙信が、本陣に座る信玄に三太刀にわたり斬りつけ、信玄は軍配でこれを受けとめたと伝わっている。これが上杉・武田両軍最大の戦い「第四次川中島の戦い」である。

「鞭声粛粛　夜河を過る」で始まる詩吟「川中島」は、この合戦を表現したものである。

見返し　八重垣姫（やえがきひめ）

八重垣姫は、歌舞伎演目「本朝廿四孝（ほんちょうにじゅうしこう）」に登場する姫である。上杉謙信の娘で、許嫁である武田勝頼（武田信玄の世子）の危急に際し、諏訪明神の使いとされる白狐の助けを借り、八重垣姫は氷の張る諏訪湖を渡り勝頼を助ける。

歌舞伎では、「祇園祭礼信仰記（ぎおんさいれいしんこうき）」の雪姫（ゆきひめ）、「鎌倉三代記（かまくらさんだいき）」の時姫（ときひめ）とともに三姫（さんひめ）と呼ばれている。

盛岡市長田町一〇－一
TEL 六一八－五三二九

の組

頭取　吉島　敏夫

プロフィール

盛岡八幡宮北鳥居前を本陣として、準備・山車製作・太鼓練習をしてまいりました。

平成六年から参加で、本年二十七回目の盛岡八幡宮例大祭への山車奉納になります。

紅葉狩（もみじがり）

見返し　更科姫（さらしなひめ）

話のあらましは、九月の、紅葉が美しいとある山中です。

高貴な風情をした女「見返し　更科姫（さらしなひめ）」が、侍女（じじょ）を連れて、山の紅葉を愛（め）でようと幕を廻して、宴を催していました。その酒席に、鹿狩りの途中であった平維茂（たいらのこれもち）の一行が通りかかります。維茂は、道を避けようとしますが、気づいた女たちに「是非ご一緒に」と誘われるまま、宴に加わります。高貴な風情をした女はこの世の者とは思えぬ美しさ。酒を勧められ、つい気を許した維茂は酔いつぶれ、眠ってしまいます。それを見届けた女たちは、どこか姿を消してしまいます。

ちょうどそのころ、八幡大菩薩（はちまんだいぼさつ）の眷属（けんぞく）武内の神が先の山（実は信濃国戸隠山（とがくしやま））への道を急いでいました。維茂を籠絡（ろうらく）した女は、戸隠山の鬼神だったのです。武内の神は、維茂の夢に現れそのことを告げ、八幡大菩薩からの下された神剣を維茂に授けました。さて、夢から覚めた維茂の目の前には、鬼女が姿を現し、襲いかかってきます。維茂は勇敢に立ち向かい、激しい戦いの末に、みごとに神剣で鬼女を退治しました。

盛岡市八幡宮北鳥居前
TEL 六二五－七三五〇

快適環境サプライヤー
TriS
株式会社トライス
設備のことなら何でもご相談ください
TEL.019-604-7511
本社 盛岡市盛岡駅西通二丁目17番10号

盛岡秋まつりを応援しています。
Chinese晴菜
11:30～14:00
17:30～21:00
(L.O 20:30)
盛岡市青山3-20-16
TEL 090-3469-7745
定休日：月曜日の夜・火曜日

山車・祭り用品・頭巾
手古舞衣装お仕立一式
石岡呉服店
盛岡市鉈屋町1-18
☎・FAXとも 019-622-2633
地図

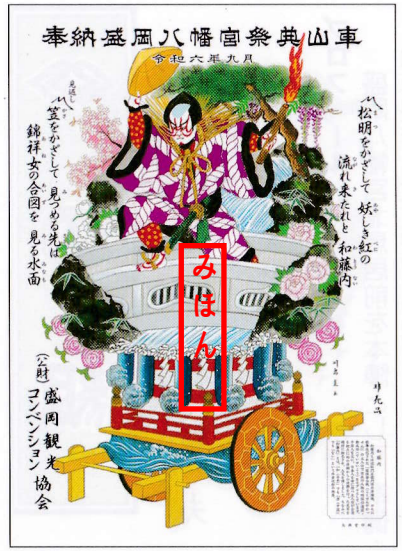
AEDはフクダ電子
全団体盛岡山車にはAEDが搭載しております
医療機器専門メーカー
FUKUDA DENSHI
盛岡営業所 ☎019-656-2200

盛岡観光コンベンション協会

理事長　谷村邦久

プロフィール

一九七八（昭和五十三）年の初陣以来、盛岡山車推進会他関係各位のご協力を仰ぎながら、多くの市民の皆様が自由に参加できる山車として、本年で四十四回目の運行となります。これまでに携わった多くの方々の尽力と盛岡の伝統を重んじながらも、市内外の観光客の方々に観覧いただける山車として、参加者一丸となって活気に溢れた運行を目指してまいります。



和藤内（わとうない）

和藤内とは近松門左衛門作の浄瑠璃、のちに歌舞伎化された「国性爺合戦（こくせんやかっせん）」の主人公で実在の人物の明国の遺臣・鄭成功（ていせいこう）をモデルとしています。中国人を父に、日本人を母に持つ主人公が台湾を拠点に明の清朝からの復興を行った史実を題材に脚色され、人気を博しました。ちなみに「和藤内」とは、「和（日本）」でも「唐（中国）」でも「ない」という作者近松の洒落。

見返し　**錦祥女（きんしょうじょ）**

錦祥女とは、和藤内の父・鄭芝龍（ていしりゅう）が大陸に残した先妻との娘で、和藤内にとっては異母姉にあたります。作中で、錦祥女は自害し、自らの血を流すことで夫・甘輝が和藤内の味方にならぬことを知らせました。今年の山車の風流は、この場面を和藤内が橋の上から見ている「紅流し」の場面を表したものです。

盛岡市中ノ橋通一―一―一〇
TEL　六二一―八八〇〇
（TEL　六〇四―三三〇五）
※九月一四～一六日のみ

盛山会さ組

頭取　佐倉　勉

プロフィール

昭和五十六年、盛岡山車を盛んにする会「盛山会」を発足し「山車で繋ごう市民の心」をスローガンに誰でも参加できる山車として平成元年の初奉納以来、皆様に支えながら本年で三十六年目を迎えます。

寿曽我対面（ことぶきそがたいめん）

歌舞伎界では享保年間以来、毎年正月に上演されて来た「吉例」の祝典劇です。

それは、長年の苦難の末に仇討ちを果たした曽我兄弟の芝居を上演することで、悪霊祓いをして一年の平安を祈って参りました。本来は曽我の十郎・五郎の図ですが、同舞台の中で猿隅の小林朝比奈の緑色を配し、舞台で動きを出すもくろみです。

見返し　**娘七種（むすめななくさ）**

歌舞伎舞踊の世界には、決め事なるものが有ります。普通は遊女の大磯の虎や化粧坂の少将ですが、さ組は静御前を飾ります。

仇討ちにはやる兄弟を留めて時節をまてと、七草をまな板の上でたたき、十郎・五郎に鼓を振り踊らせて冷静さを取り戻させる場面の舞台です。

盛岡市神子田一―四一
TEL　六二二―四二六五

鈴正の高性能木造注文住宅
ベルウッド・ハウスのすずまさ
建築・土木・設計・不動産
株式会社　鈴正
盛岡市南仙北２丁目１３－１７
TEL 019-635-2828　FAX 019-635-2827
http://suzumasa.cc/

わ組

頭取　齋藤　豊一

プロフィール

わ組は盛岡市消防団第十一分団を中心としています。その歴史は、明治二十七年、県令制定により公設消防組の設置指導がなされ旧厨川村においても定員四十名にて消防組が先輩たちより組織されたことに始まります。

以後、大正十三年四月に三ツ家地域を中心とした厨川村自警団が改組して厨川村消防組となり、村民の協力を得てその任に当たりました。また、昭和十五年に盛岡市に編入され、盛岡市警防団第十一分団、昭和二十二年に消防団令が公布されて盛岡市消防団第十一分団となり、現在に至ります。

管内は県都盛岡の西の玄関口として高速道盛岡インター、そして盛岡駅にも程近く、近隣は新興住宅街、大型ショッピングセンターの進出のほか、JR前潟駅の新設など、発展の一途を辿っています。

わ組の「わ」は平和の「和」融和の「和」から命名したものです。昭和三十九年に初めて奉納して以来、このたび七年ぶり十三台目の奉納となります。

厨川消防組　纏持ち（くりやがわしょうぼうぐみ　まといもち）

昭和七年九月二日の夜、盛岡地方裁判所で発生した火事はその建物のほとんどを焼き尽くし、さらに石割桜も猛火にあぶられ枝先の一部が焦げたといいます。この火事には、盛岡市内の消防組のみならず、十一分団の先輩である厨川消防組も駆け付け、煙に満ち赤く燃え上がる火の手に対し、必死の消火活動にあたりました。さらに、裁判所建物に戴いた「菊の御紋」を無事に掛け外し保護した功績から金ばれんが授与される活躍をみせました。今年は、その厨川消防組が組織されてから百年の節目です。わたしたちはその心意気を受け継いでいくとともに、さらに次の百年を見据えて地域防災に取組んでいきます。

「警察徽章」の纏を持つ厨川消防組の勇姿にぜひご注目ください。

見返し　土淵伝統さんさ（つちぶちでんとうさんさ）

わたしたちの郷土に伝わる土淵伝統さんさ踊りは、盛岡市との合併前から厨川村全域で踊られていたもので、戦後から伝わっています。

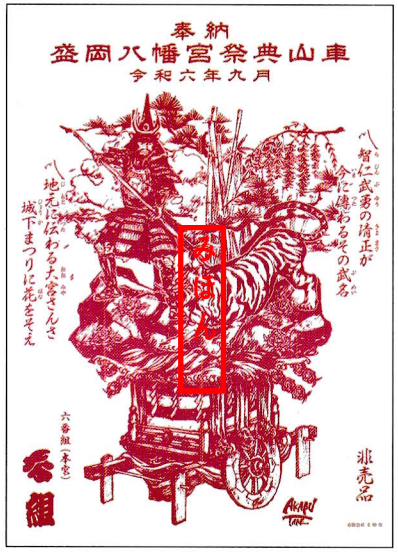
頭には牡丹の花笠、腰には五色の腰帯を身に付けて、先祖供養と五穀豊穣の願いを込めて踊ります。

現在も若手により地域の伝統を受け継いでいます。

盛岡市上厨川新田八五ー二〇
TEL　六四七ー二九〇〇

な組

頭取　浅沼　芳光



プロフィール

「な組」の由来は、昭和五十九年に初めて県社八幡宮に山車を奉納したとき「江戸火消六番組な組」より認可を頂き、以来継承し今回で八回目の奉納になります。

母体である盛岡市消防団第十二分団は、大正三年、本宮消防組として発足し、昭和十六年の盛岡市との合併に伴い、本宮村の警防団が盛岡市警防団第十二分団として編成され、昭和二十三年よりこの組織を継承する形で現在の名称となり今日に至っております。

加藤清正（かとうきよまさ）

安土桃山時代の武将。文禄・慶長の役（朝鮮出兵）では、現在のロシアにまで攻め寄せるなどの活躍を見せた。「賤ヶ岳の七本槍」としても有名。

朝鮮出兵の際、陣営近くに虎が現れ、馬や家臣が殺される事件が起きた。これに激怒した清正は、自ら山狩りを行いやがて一匹の虎と遭遇。家臣たちが鉄砲で虎を撃とうとするのを制止し、自ら槍で虎を仕留めたという。

見返し　大宮さんさ（おおみやさんさ）

明治十年頃、馬頭観世音や南無阿弥陀仏の供養塔に奉納として踊り、以来林崎地区民（現本宮地区）に定着するようになったものと言われる。古くから踊り継がれてきた伝統的なさんさ踊りの中で、テンポの早さと躍動感あふれる太鼓、笛のリズムに乗った踊りを特色とするのが「岩手県無形民俗文化財・大宮さんさ踊り有名連」であり、現在も本宮地区の伝統郷土芸能として伝承されております。

盛岡市本宮三ー四七ー一六
TEL　六三五ー三〇八八

楽しい食事に・・・ COFFEE & RESTAURANT
ランチタイムメニュー
平日限定
AM11：30～PM1：30

Aランチ生姜焼き
他、多数ございます。
バンプス
Bumps
盛岡山車を応援しています
（貸切パーティー承ります）
〒020-0142　盛岡市稲荷町16-32
TEL&FAX　019－643－5081

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します！
株式会社 リードコナシ
代表取締役　伊東正文
〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-40
TEL：019-656-3600 / FAX：019-656-3601
URL：https://www.leadkonan.co.jp/

SAN-ESU CONSULTANT INC.
未来の国土をデザインする。
総合建設コンサルタント
サンエスコンサルタント株式会社
代表取締役　鈴木　清士
〒020-0857　岩手県盛岡市北飯岡一丁目5-8
TEL：019-635-0194　FAX：019-656-0195
https://www.sss-c.jp

足場からイベント会場設営まで
— なんでもお貸し致します —
仮説ハウス・トイレ等各種リース業
有限会社 メンテナンス不来方
●お気軽にお電話下さい●
岩手県紫波郡矢巾町白沢第2地割177
TEL (019) 697−1386
FAX (019) 697−1393
携帯 090−3365−0162

大切な家族だから、
安心・ゆとりのある
新しいくらしを…。
サービス付き高齢者向け住宅
デイサービス併設
ケアヴィレッジ
よろこび
重介護・認知症のことなど、お気軽にご相談下さい。
盛岡市三本柳2地割32-1
TEL019-681-8071 FAX019-681-8072

盛岡山車を応援します
お車の事でしたらお気軽にどうぞ
有限会社 親和自動車整備工場
24時間365日ロードサービス
盛岡市神子田21-10（朝市入口）
TEL 019-651-5488 FAX 019-651-1541

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します。
名鉄観光サービス株式会社
盛岡支店長 佐藤 保
盛岡市大通3-3-10
（七十七日生盛岡ビル9階）
TEL 019-654-1058

TORYO KOHSOKU
『新価値（シンカチ）』＝アナログ×デジタル
情報はNew Valueへ
杜陵高速印刷株式会社

〜古（いにしえ）から未来へ〜
伝統の葬祭文化を守る
ご家族の想いを大切に
皆さまの想いに寄り添います
本社
㈱駒木葬祭 盛岡市南大通二丁目2-6
☎ 622-2343

TSK TOHOKU SHEET KOGYO
テントの
トータルプロデュース
LOSBERGER TENT
イベントの型を変える、ロスベルガーテント レンタル中

東北シート工業株式会社
〒020-0846岩手県盛岡市流通センター北1-4-9 TEL.019-614-0132 FAX.019-614-0137

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します。
消防防災用品総合商社
互光商事株式會社
創業昭和22年
〒028-3621矢巾町広宮沢11-501-14（流通センター南側）
TEL 019-639-0505 FAX 019-639-0808 URL http://www.goko-shoji.co.jp

巳染工
TEL. 019-622-5334 FAX. 019-622-5310
MAIL. data@tomoemax.co.jp URL. https://tomoemax.co.jp
本社工場 〒020-0885 盛岡市紺屋町5-32
南大通BASE 〒020-0874 盛岡市南大通1-10-24

手古舞衣裳・お支度
（子供から大人まで承ります）
あなたの佳き日の
想い出を大切に……

盛岡八幡宮祭典「てこまい」姿
Pearl パール 美容院
盛岡レンタルコスチューム協会会員
ブライダル一級コンサルタント
総本店・ブライダルサロン
●ご予約・お問い合わせは……
〒020-0042 盛岡市新田町7-29
019-653-5666

あなたの住んでいる街を一緒に守りませんか？
団員募集 盛岡市消防団
盛岡市総務部
危機管理防災課消防対策室
TEL 019-626-7404

主催・問合せ（公財）盛岡観光コンベンション協会
TEL.019-621-8800（第2火曜日を除く平日9:00～17:00）

あなたへ、マルのあふれる暮らしを。
株式会社マルノ
MARUNO INC.
本 社 〒020 0805 岩手県盛岡市東新庄1-1-25
TEL (019) 623 5351 ㈹
FAX (019) 624 5235

〒020-0863 岩手県盛岡市南仙北2-23-9
TEL：019-635-2501 https：//iwachu.co.jp

Yakult
乳酸菌 シロタ株
400億個のチカラ
※ヤクルトレディがお届けしています。
岩手ヤクルト販売株式会社
〒020-0125 盛岡市上堂4-3-4 TEL.019(641)8960

旅行・部活動にはトヨタレンタカー！
〈全国1，200店舗＆保有台数NO1〉

TOYOTA Rent a Car
トヨタレンタリース岩手
本社 盛岡市名須川町９番５号 TEL:019-652-0125

保険クリニック
盛岡インター店
盛岡フェザン店
盛岡バスセンター店
3世代保険サービス
アイドカ®

有限会社 新鋭

出会った瞬間に、「一目惚れ」する。
T-MIG 岩手トヨペット
本社／盛岡市上田2丁目19-40 TEL.019-651-3211
https://iwate.toyopet-dealer.jp/

岩手県指定無形民俗文化財 盛岡山車 を応援しています
Hualien
花蓮－盛岡
手足情深・情比石堅
友情は兄弟のように深く 石よりも堅い
盛岡花蓮友好協会